

「太平山麓九条の会」だより

事務局：須黒法律会計事務所 〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757
電話・郵絡先 0282-22-7079(増田)
Eメール oohirasanroku9jo@yahoo.co.jp HP：太平山麓九条の会で検索



139号
2018年12月3日発行

9条は軍事化の最強の歯止め!



安倍9条改憲NO! 3000万人署名は改憲を阻止する力

日本国憲法公布72周年記念集会

渡辺治氏講演会

11月4日、県民ネット主催による、渡辺治氏を迎えて日本国憲法公布72周年記念講演会が行われました。

渡辺治氏は冒頭、衆院憲法審査会幹事から与野党協調推進派の船田元氏、中谷元氏を更迭し改憲強行の新体制にした。臨時国会に改憲案提示を表明する所信表明演説での強行発言は、新たな局面に入ったと話されました。

9条改憲に固執するのは「9条の力」

渡辺氏は「国民の間にも、9条を守ろうと活動している我々の間にも、9条は戦争法で穴が空いたのでは?という疑問があるが、そうではない。戦争法によって自衛隊は南スーダンに派遣されたが、9条があるため海外で全面的武力行使ができなかった。もしひとりでも死者が出れば安倍政権は崩壊する状態であった。」安倍首相が9条改憲に執念を燃やし固執するのは、「9条は軍事化の最強の歯止め」と話す『9条の力』が心にストーンと落ちました。

自衛隊の明記は、9条だけでなく憲法全体が変質する

安倍首相は、自衛隊を憲法に明記してもなにも変わらないと、繰り返して発言しているが、9条に自衛隊を明記すると、9条だけでなく憲法全体が変質して「戦争する国」になってしまう。

日本国憲法には、緊急事態法も軍刑法も軍法会議も軍事秘密保護法もない。人権が保障され、防衛省の追及もできるし、基地監視活動も自由で、戦前のような「軍部」もないから社会に明るさがある。だが、自衛隊が憲法に明記されれば、事実上軍刑法や軍法会議ができ、秘密保護法もがらりと変わり、戦前のような軍事秘密保護法による市民監視活動がまかり通ることになる、と自衛隊の憲法明記の危険性を具体的に示されました。

3000万人署名は、改憲を阻む力

この、自衛隊明記の危険性はまだ市民に知られていない。3000万人署名で対話し広めることは、世論をつくり、改憲を阻む力になる。日本の平和は「空気」ではない。運動と憲法が作ってきた。今こそ、市民と野党の共闘の出番、参院選で野党が勝利し、安倍改憲を葬り去ろうと結びました。(記 大森八重子)



改憲阻止! 声を上げよう!
スタンディングのお知らせ

- 12月19日(水) カワチ薬品前交差点
 - 2019年1月9日(水) 栃木市役所前
 - 1月19日(土) コープ栃木店前
- ※時間は午後3時からです。

成人おめでとう!
会場前で今年も「憲法豆本」を配ります。

栃木市の成人式は **2019年1月13日(日)**
新成人となられる若者に「成人おめでとう!」とお祝いし、「憲法豆本」をお渡します。ご協力お願いします。

「集合時間のお知らせ」

- 栃木文化会館：9時半
 - 大平文化会館：9時
 - 都賀文化会館：9時
 - 岩舟文化会館：9時
 - 藤岡文化会館：9時
 - 西方総合文化体育館：9時
- ※集合時間は、式開始時間の約1時間前でご案内しています。

カンパのお願い
日頃、いろいろな面でご支援・ご協力ありがとうございます。出費が多い中、恐縮ですが、カンパのご協力をお願いします。カンパは、ニュース発行やチラシの印刷、今後の運動に使わせていただきます。

止めよう！改憲発議 —— この憲法で未来をつくる

11月3日 国会前大行動に参加して

玉田 明子



72年前に日本国憲法が公布された3日、憲法を守り活かそうとアピールする行動が全国各地で行われました。

私はとちぎ市民ネットの呼び掛けで「国会前総行動」に行ってきました。

野党4党が到着順に挨拶、(到着順というのがいいですね)・市民運動代表のスピーチがありました。誰もが、安倍政権の強引・でたらめなやり方に怒り、国民・人権無視の実態を告発、改憲発議を止めよう、そのために市民と野党の「本気の共闘」を実現しようとアピール。

様々な団体がプラカードや旗を掲げていま

したが、そのなかで福島原発事故の責任を問うトラックのデモが心に残りました。運転席の屋根上には牛の頭蓋骨(本物?)が二つ、荷台にはパイプでつくられた骨格に

「寒冷紗」(農作物を覆う黒いネット)をかけて作られた牛が立っていました。それは、風にゆらゆら揺れ、日に日に飢えて死でいった「福島の牛」そのものでした。東京の真ん中でそれを見た一般市民は何を感じたのでしょうか。

当日は、主催者発表1万8000人の大集会でした。マスクは全く報道しませんが、全国津々浦々で「安倍政治を許さない」「9条には手をつけさせない」の運動が広がっています。栃木市でも多くの人の創意と力を合わせ「あきらめない」で進みましょう。



「佐野九条の会」設立13周年記念

イラクから見る日本

暴力の連鎖の中で考える日本の憲法

= 「高遠菜穂子氏」講演会に参加して =

荻野 美津子

安田純平さんが無事解放されたが、自己責任論でバッシングを受けています。

高遠さんも15年前に拘束され、バッシングを受けました。辛かったです。辛いですが、強い意志を持ち、現在も、首都アンマンにアパートを借り、数か月に一度日本との間を行き来して活動し、食糧支援や医療支援を中心に人道支援を続けています。

今日の講演では、高遠さんが中心になって立ち上げた「イラクにピース・セル(平和細胞)を拡散するプロジェクト」について話をしてくれました。

このプロジェクトは、作家、俳優、教育関係者、学生、ボランティアによる、平和教育と環境保護に特化したプログラムで、日本を拠点としてネットワークを作っています。今動き出しているのは、いつで

私の好きな絵本

「にじいろのさかな」

講談社

マーカス・フィスター作 谷川俊太郎訳

私がまずこの本を見たとき、絵の美しさに引き込まれました。にじいろのさかなのうろこは、キラキラ輝く細工がされていて、大人である私も心が踊ったのです。

読み進めると、傲慢なにじいろのさかなは、自分のうろこを一枚一枚分け与え続けることにより、心が変化していきます。幸せを分かち合うことの大切さを教えてくれます。うろここという「もの」を分け与えることによって表現していますが、それに限らないと思います。時間や空間、形にならないものも、人と共有して初めて幸せを感じると思います。さらには、人は皆一人では生きられない、ということはこの絵本を通じて子供たちに伝えたいと思いました。(記 揚張亜希子)

